

# 第37回 浜松合唱団定期演奏会

## 青い空に

浜松合唱団も参加した、舩の会第14回演奏会(2025年8月20日横浜みなとみらいホール)にて初演された新曲を演奏します。

浜松では、すっかりお馴染みになった作曲家の山下祐加さんが、和合亮一さんの詩に寄り添って、「青い空が心から美しいと感じられる空でありますように、心の中が、明日が、そして未来が青く晴れ渡った空のようでありますように」という思いを込めて作られた作品を皆様に届けたいと思います。

## ジーモン・ヴァヴェル

### 宗教的無伴奏混声合唱曲集

毎年取り組んでいる現代外国曲、今回はドイツの作曲家ヴァヴェルの作品を取り上げました。現代的でジャズの要素を取り入れた語法を融合させた無伴奏合唱作品で知られています。教会音楽に基づく堅固な和声感覚で歌われる《Ave Maria》《O Magnum Mysterium》《Nunc dimittis》の3曲。一変して《Jubilate Deo》では、力強いリズムと独特の和声によって、喜びと内省の両面を鮮やかに描き出しています。

## イギリス歌めぐり

「ロンドン橋」や「グリーン・スリーヴス」はご存じですよね。それらの民謡がジャズワルツ風やサンバ風にアレンジされて、なんと、エルガー作曲の「威風堂々」が伴奏に使われています。おまけに、今回はピアノだけでなく浜松交響楽団のメンバーによる管弦楽アンサンブル付きで聴けるというお得なステージになっています。

## 夜明けから日暮れまで

オープニングで、2012年に生まれたこの曲を歌います。「あなたは誰 あなたは野火 野火を求めよ その先に夜明けがある」いささか唐突に登場する歌詞「野火」とは？種明かしは演奏会当日に。この演奏会のメインプログラムである『青い空に』の作詩者と和合亮一の世界へお誘いいたします。



指揮 岸 信介

国立音楽大学声楽科卒業。日本合唱協会にてコンサートマスターを務める。指揮法を山田一雄、和声・合唱法を増田順平の各氏に学ぶ。毎日学生音楽コンクール声楽部門入賞。NHK合唱コンクール等の審査員、全日本合唱センターや各地の合唱講習会等の講師としても、多方面にわたり活躍している。「舩の会」一指導している合唱団の集まりを主宰し、数々の新作を委嘱初演している。海外のコンサートにおいても高い評価を得る。現在、全日本合唱連盟名誉会長、東京都合唱連盟顧問、日本合唱指揮者協会会員、東日本合唱祭顧問、日頃文化協会会員。2019年藍綬褒章受章、第3回くにたち賞大賞受賞。



指揮 玉川 昌幸

国立音楽大学声楽科卒業。莊智世恵教授に師事。1978年モーツァルテウム音楽院国際夏期アカデミーに参加。キム・ボルイ教授に師事。修了コンサートに出演。1998年イーストマン音楽学校夏季セミナー '98 in 浜松に参加。デイル・ムーア教授に師事。翌年度同セミナー参加への奨学金を授与される。多くのオペラ、コンサートに出演する他、2001年1月にはオランダよりトム・ボレン氏を伴奏者に迎え独唱会を開催し好評を博す。浜松市合唱連盟理事長、静岡県合唱連盟理事長。令和4年度地域文化功労者表彰を文部科学大臣より受ける。



ピアノ 戸塚 勢津子

桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻卒業。ピアノを金原美津子、安倍紀子、故中島和彦、各氏に師事。また室内楽を岩崎淑氏に師事。第10回静岡県音楽コンクール入賞。第5回新人音楽コンクール(朝日新聞・飯塚文化連合会主催)ピアノの部第2位。伴奏やデュオなどで多数の演奏会・コンクールに出演。現在、浜松学芸高等学校芸術科非常勤講師、静岡県立浜松江之島高等学校芸術科講師。浜松市立高等学校合唱団、浜松フラウエンコールの伴奏者も務める。



管弦楽アンサンブル 浜松交響楽団

浜松合唱団の母体団体である浜松交響楽団。今年創立50周年を迎え、3月に第100回定期演奏会でベートーヴェン交響曲第9番合唱付きを浜松合唱団とともに演奏した浜松交響楽団から、7名の管弦楽器奏者が「イギリス歌めぐり」に参加する。



浜松合唱団

1987年「浜響とモーツァルトのレクイエムを歌う会」が発展して発足。1988年の第1回演奏会以降、年1回の定期演奏会を軸に活動を続ける。1989年から岸信介氏の指導を受け、1990年から全日本合唱コンクールに参加。全国大会にも5回出場した。20代から70代まで幅広い年齢層の約35名で、様々なジャンルの合唱曲を楽しんでいる。2007年静岡県地域文化活動特別奨励賞受賞。

